

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-289679

(43) 公開日 平成7年(1995)11月7日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 6 3 B 71/10

識別記号

Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-90013

(22) 出願日 平成6年(1994)4月27日

(71) 出願人 000114606

モリト株式会社

大阪府大阪市中央区南本町4丁目2番4号

(72) 発明者 北野 文一

大阪市中央区南本町4丁目2番4号モリト  
株式会社内

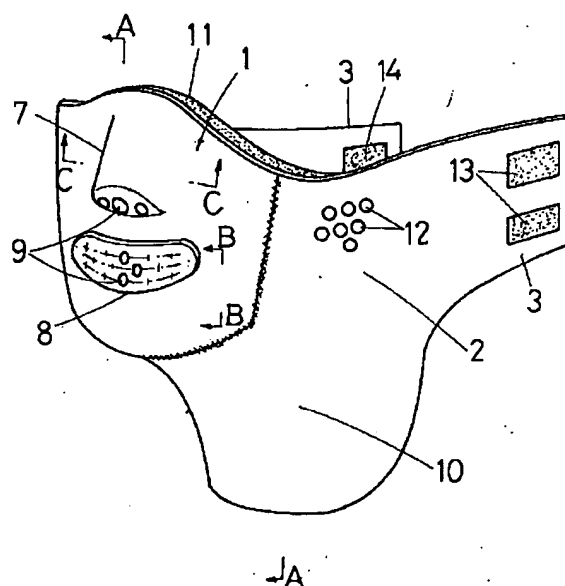
(74) 代理人 弁理士 石田 定次 (外1名)

(54) 【発明の名称】 スキー用防寒マスク

(57) 【要約】

【目的】 外部からの音声の聞き取りを良好とするとともに、口の開閉を自由として、自由な会話と危険の察知を良好にしたスキー用防寒マスク及び顔面のみならず首部分に対しても防寒保護作用を発揮するスキー用防寒マスクを提供することを目的とする。

【構成】 顔の眼下から顎部にかけてを覆い、当接鼻部に鼻用膨出部7及び当接口部に口用膨出部8を表面側へ膨出させ、鼻孔対応位置と前記口用膨出部8に呼吸用孔9を開設し、上縁内面に息吹上止め弾性体11を設けた正面防寒保護部1と、正面防寒保護部1の両側に縫着され且つ耳当接位置には聴取孔12を穿設した発泡性のネオプレンゴム(商標)からなる側面防寒保護部2と、該側面防寒保護部2に連続する装着帯部3と、前記正面防寒保護部1と側面防寒保護部2の下縁に沿って一体形成された首回り防寒保護部10とから構成されている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 顔の眼下から顎部にかけてを覆う正面防寒保護部1と、該正面防寒保護部1の両側のそれぞれに連続して頬部及び耳部を覆う側面防寒保護部2と、該側面防寒保護部2に連続して後頭部で重着結合する装着帯部3とからなるスキー用防寒マスクにおいて、前記正面防寒保護部1は、外面となる表面から順に伸縮性表生地4、保形材5、裏生地6を積層した材料からなり、全体が顔面に沿って湾曲した形状であって、特に当接鼻部7及び当接口部8を表面側へ膨出させ且つ前記当接鼻部7の膨出下面及び当接口部8に呼吸用孔9を開設し、また側面防寒保護部2の耳当接位置に聴取孔12を穿設したことを特徴とするスキー用防寒マスク。

【請求項2】 正面防寒保護部1の上縁内面に、一体成形又は接着手段により息吹上止め弾性体11を設けた請求項1記載のスキー用防寒マスク。

【請求項3】 正面防寒保護部1の下縁に縫着され、且つ側面防寒保護部2の下縁を延設した部材又は側面防寒保護具2とは異なる防水性保温部材からなる首回り防寒保護部10を形成した請求項1又は請求項2記載のスキー用防寒マスク。

【請求項4】 正面防寒保護部1の当接鼻部7及び当接口部8を除く顔面当接面の全面または一部を、発泡弾性部材13を介在させて厚くした請求項1、請求項2、請求項3のいずれか1項に記載のスキー用防寒マスク。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、スキーヤーがスキー場において顔面に装着使用するスキー用防寒マスクの改良に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来のスキー用防寒マスクとしては、実公昭61-9666号公報に開示されているように、口、鼻、頬を密着状態で覆う左右の弾性覆板と鼻の隠蔽帯状部とを連結状態に設け、この隠蔽帯状部の中央で2つ折り状に折り畳んで両端部に止着具を設けた細長い弾性覆板を形成し、さらに弾性覆板の口部にその重合縁を縫合した縫合部を形成し、また口が位置するところに多数の呼吸用小孔を穿孔し、同じく鼻が位置する所に隠蔽帯状部により鼻に合わせた隆起部を形成すると共に隆起部の下側に鼻用呼吸用孔を形成した構成のものが公知である。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記公知のスキー用防寒マスクは、継ぎ目のある部分が唇に密着して違和感を与えるとともに、多数の呼吸用小孔の穿設だけでは息苦しさがあり、また密着によって発声を困難にし、特に女性の場合には口紅が付着し、次期使用時に不快感がある。

【0004】また、上記のスキー防寒用マスクは、弾性

覆板によって耳部が覆われるために、外部からの音声が届き取りにくく会話をするのに不都合があるだけでなく、音声による危険の察知も困難となる。

【0005】さらに、前記スキー用防寒マスクは、顔面部分の防寒保護作用は達成することができるが、該マスクとスキーウェアとの境界となる首部分の防寒保護作用がないために、首部分が寒く又転倒した場合等においては該首部分から雪が入り込んだり、他の物が首部分に直接当たる等の危険があり、その解消が望まれている現状である。

【0006】本発明は、外部からの音声の聞き取りを良好とするとともに、口の開閉を自由として、自由な会話と危険の察知を良好にしたスキー用防寒マスク及び顔面のみならず首部分に対しても防寒保護作用を発揮するスキー用防寒マスクを提供することを目的とするものである。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明のスキー用防寒マスクは、顔の眼下から顎部にかけてを覆う正面防寒保護部1と、該正面防寒保護部1の両側のそれぞれに連続して頬部及び耳部を覆う側面防寒保護部2と、該側面防寒保護部2に連続して後頭部で重着結合する装着帯部3とからなるスキー用防寒マスクにおいて、前記正面防寒保護部1は、外面となる表面から順に伸縮性表生地4、保形材5、裏生地6を積層した材料からなり、全体が顔面に沿って湾曲した形状であって、特に当接鼻部7及び当接口部8を表面側へ膨出させ、且つ前記当接鼻部7の膨出下面及び当接口部8に呼吸用孔9を開設し、また側面防寒保護部2の耳当接位置に聴取孔12を穿設した構成である。

【0008】また正面防寒保護部1の下縁に縫着され且つ側面防寒保護部2の下縁を延設した部材又は側面防寒保護具2とは異なる防水性保温部材からなる首回り防寒保護部10を形成した場合には、首部分に対しても防寒保護作用が確保できる。

【0009】なお正面防寒保護部1の上縁内面に、一体成形又は接着手段により息吹上止め弾性体11を設けた場合には、息の吹き上げによってゴーグルが曇るのを防止して常に良好な視界が確保され、安全な滑降ができる。

【0010】また、正面防寒保護部1の当接鼻部7及び当接口部8を除く顔面当接面の全面または一部を、発泡弾性部材13を介在させて厚くした場合は、顔面及び両頬部分のフィット性を良好にすることができる。

## 【0011】

【作用】上記のように構成したスキー用防寒マスクは、顔の眼下から顎部にかけてを覆う正面防寒保護部1を、外面となる表面から順に伸縮性表生地4、保形材5、裏生地6を積層した材料を用いて、顔面に沿う湾曲を与え特に当接鼻部7及び当接口部8を表面側へ膨出させるこ

3

とにより、顔面を無理に締付けることなく心地良くフィットさせることができるとともに、当接口部8の膨出によって口部に生地が密着せず、また側面防寒保護部2の耳当接位置に聴取孔12を穿設によって、外部からの音声が届ることがなく、同志の会話、注意事項の聴取、滑降音等の聴取に支障がなくなり、安全で楽しい滑降を楽しむことができる。又女性の場合には口紅の付着が防止されるようになる。

【0012】

【実施例】図1は実施例1に係る本発明のスキー用防寒マスクの斜視図、図2は実施例2に係る本発明のスキー用防寒マスクの斜視図、図3は図2のA-A線断面略図、図4は図1、図2のB-B線拡大断面図である。

【0013】実施例1としてのスキー用防寒マスクは、図1に示すように、顔の眼下から顎部にかけてを覆う正面防寒保護部1と、その左右に縫着結合される側面防寒保護部2と、該側面防寒保護部2に連続する装着帯部3とから構成されている。

【0014】前記正面防寒保護部1は、図1及び図4に示すように、外面となる表面から順にナイロン、ニット等の伸縮性表生地4、ウレタンまたはエチレンビニールアルコール、ヌーバー（商標）等の保形材5、パイル生地等からなる裏生地6を積層して、顔面に沿う湾曲を与え、特に当接鼻部に鼻用膨出部7及び当接口部に口用膨出部8を表面側へ膨出するようにプレス成形より形成するとともに、上縁内面に、一体成形又は接着手段により息吹上止め弾性体11を設け、さらに前記鼻用膨出部7の鼻孔対応位置と前記口用膨出部8に、鼻孔、口に対応させて呼吸用孔9を開設した構成となっている。

【0015】また前記側面防寒保護部2及び装着帯部3は、伸縮性にすぐれたシート材料、例えば発泡性のネオプレンゴム（商標）を使用し、側面防寒保護部2の耳当接位置には聴取孔12が穿設されており、また後頭部で重着する装着帯部3の自由端部の内面には面ファスナー雌片13を、他の装着帯部3の自由端部外面に面ファスナー雄片14をそれぞれ縫着した構成となっている。

【0016】実施例2としてのスキー用防寒マスクは、図2及び図3に示すように、顔の眼下から顎部にかけてを覆う正面防寒保護部1と、その左右に縫着結合される側面防寒保護部2と、該側面防寒保護部2に連続する装着帯部3と、前記正面防寒保護部1と側面防寒保護部2の下縁に沿う首回り防寒保護部10とから構成されている。

【0017】首回り防寒保護部10は、側面防寒保護部2と同一の材料で構成され、前記正面防寒保護部1と側面防寒保護部2の下縁に沿って一体に形成されている。

【0018】前記首回り防寒保護部10は、伸縮性にすぐれたシート材料を、正面防寒保護部1を除いた展開輪郭形状に打ち抜き形成するか、独立して首回り防寒保護部10を形成した後、正面防寒保護部1と側面防寒保護

4

部2の下縁に立体縫着することにより形成する。

【0019】なお前記正面防寒保護部1、側面防寒保護部2及び装着帯部3の構成は、実施例1と同様であるから、同一符号を付して説明を省略する。

【0020】また実施例3、4としてのスキー用防寒マスクは、前記実施例1、2の構成において、図1、図2におけるC-C線に相当する位置を断面で示した図4に示すように、顔面及び両頬部分のフィット性を良好にするために、正面防寒保護部1の構成中の保形材5と裏生地6の間に、発泡スポンジ等からなる発泡弾性部材15を積層し、正面防寒保護部1の当接鼻部7及び当接口部を除く顔面当接面の両頬部分の厚みが厚くなるようにプレス成形した構成であり、他の構成は実施例1、2と同一であるから説明を省略する。

【0021】上記構成された実施例1及び実施例3に係る本発明のスキー用防寒マスクは、外面となる表面から順にナイロン、ニット等の伸縮性生地4、保形材5、パイル生地等からなる裏生地6を積層した材料を素材とし、或は正面防寒保護部1の構成中の保形材5と裏生地6の間に発泡スポンジ等からなる発泡弾性部材15を積層した材料を素材として、プレス成形により、顔の眼下の表面形状に沿う湾曲と、当接鼻部の鼻用膨出部7及び当接口部の口用膨出部8を表面側へ膨出するように正面防寒保護部1を形成し、該正面防寒保護部1の両側に、止着手段を備えた装着帯部3を延設した聴取孔12を有する側面防寒保護部2を縫着することにより製作する。

【0022】また実施例2及び実施例4に係る本発明のスキー用マスクは、正面防寒保護部1を除いた展開輪郭形状に打ち抜いて、側面防寒保護部2と首回り防寒保護部10を一体形成し、これを正面防寒保護部1の周囲に縫着するか、若しくは首回り防寒保護部10を別に形成した後、正面防寒保護部1と側面防寒保護部2の下縁に立体縫着して形成することにより製作する。

【0023】そしていずれも、正面防寒保護部1を顔面に当てて顔の眼下から顎部を覆うとともに、側面防寒保護部2で頬から耳部分を覆い、若しくは首回り防寒保護部10で首部分を覆う状態で装着帯部3を左右に引っ張って後頭部に巻き、面ファスナーで止着して連結することにより装着使用される。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように本発明のスキー用防寒マスクは、顔面の眼下から顎部にかけてを覆う正面防寒保護部を、外面となる表面から順に伸縮性表生地、保形材、裏生地を積層した材料を用いて、顔面に沿う湾曲を与え特に当接鼻部及び当接口部を表面側へ膨出するようにプレス成形より形成したことにより、無理に締付けることなく顔面に心地良くフィットして保温性が十分確保できるとともに、当接口部の膨出によって口部に生地が密着しなくなるのとため、密着による違和感がなく、また自由に且つ明確に会話をすることができ、又女性の

5

場合には口紅の付着が防止され、次期使用時の不快感が解消される効果がある。

【0025】また側面防寒保護部の耳当接位置に聴取孔を穿設することにより、外部からの音声が遮られることなく、同志の会話、注意事項、滑降音等の聴取に支障がなくなり、安全で楽しい滑降を楽しむことができる。

【0026】さらに首回り防寒保護部を設けた場合には、正面防寒保護部と側面防寒保護部と首回り防寒保護部が、皮膚の露出する顔面から首筋部の全部分の防寒保護作用を発揮し、喉首を保温して風邪ひきを予防し又転倒した場合等における雪の浸入と他物の衝突等による危険を解消する。

【0027】また正面防寒保護部の上縁内面に、一体成形又は接着手段により息吹上止め弾性体を設けた場合には、息の吹き上げによってゴーグルが曇るのを防止して常に良好な視界が確保され、安全な滑降ができる。

【0028】そしてまた、正面防寒保護部の当接鼻部及び当接口部を除く顔面当接面の全面または一部を、発泡弾性部材を介在させて厚くした場合は、顔面及び両頬部分のフィット性を良好にすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例1に係るスキー用防寒マスクの斜視図である。

【図2】実施例2に係るスキー用防寒マスクの斜視図で

6

ある。

【図3】図2のA-A線における断面略図である。

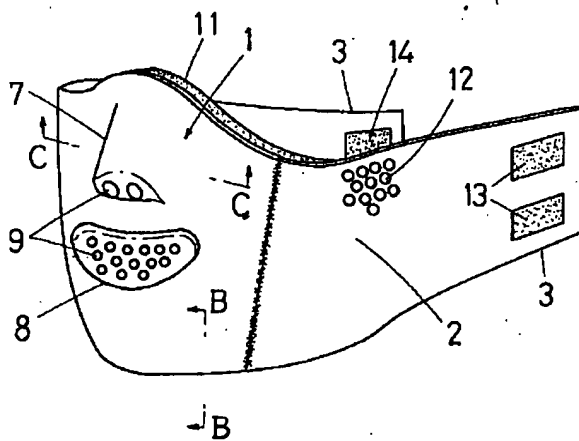
【図4】図1及び図2のB-B線における部分拡大断面図である。

【図5】実施例3、4に係るスキー用防寒マスクであって、図1、図2のC-C線に相当する部分の断面図である。

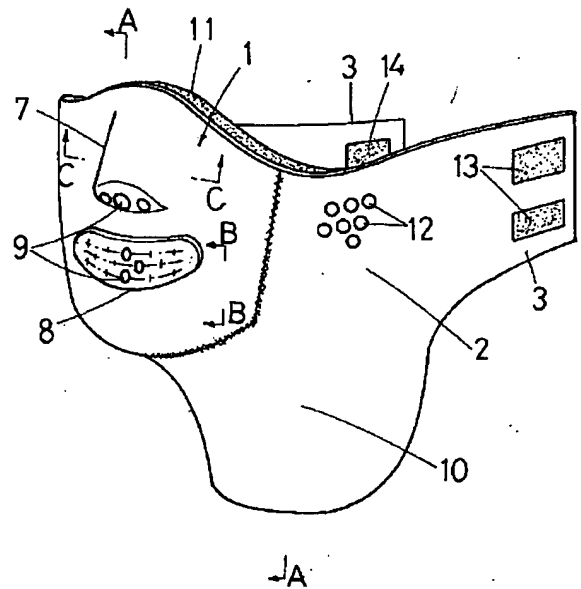
【符号の説明】

- |    |          |
|----|----------|
| 1  | 正面防寒保護部  |
| 2  | 側面防寒保護部  |
| 3  | 装着帯部     |
| 4  | 伸縮性表生地   |
| 5  | 保形材      |
| 6  | 裏生地      |
| 7  | 鼻用膨出部    |
| 8  | 口用膨出部    |
| 9  | 呼吸用孔     |
| 10 | 首回り防寒保護部 |
| 11 | 息吹上止め弾性体 |
| 12 | 聴取孔      |
| 13 | 面ファナー雌片  |
| 14 | 面ファナー雄片  |
| 15 | 発泡弾性部材   |

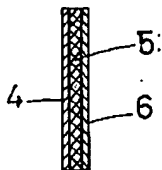
【図1】



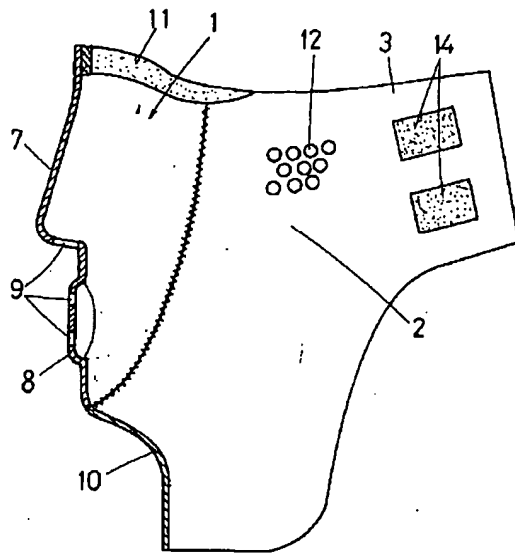
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】

